

活動終了に向けてのご報告と今後のスケジュールについて

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英、以下「INCJ」）は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。分割後も旧産業競争力強化法と同趣旨の枠組みのもとで、これまで運営されてきました。本日、株式及び債権の譲渡その他の処分を行うよう努めることとされていた 2025 年 3 月 31 日を迎えましたので、そのご報告と、今後のスケジュールに関してお知らせいたします。

■投資案件の状況：投資件数 144 件 EXIT 件数：143 件

* 2025 年 3 月期の回収額については、6 月下旬開催予定の記者会見にて公表致します。

* ご参考：2024 年 3 月現在で累計投資額 1 兆 2963 億円に対して、累計回収額 2 兆 2490 億円と、回収額が投資額を上回っており、既に新規・追加投資は終了していることから、ファンドとしての INCJ 全体の収支はプラスとなります。

■INCJ 代表取締役会長 志賀俊之コメント

「本日、INCJ は投資活動の期限を迎えるにあたり、投資を行った全 144 件の案件について概ね EXIT を完了することができたことは、ひとえに関係する皆様のご助力のお陰であり、深く感謝申し上げたい。

本日時点でEXITが完了していない案件も、市場および投資先の状況を十分に考慮しながら、全件 EXIT に向け、しっかりと進めてまいりたい。

2025 年 6 月に予定している記者会見で総括は詳しく述べる予定だが、“オープンイノベーションを通じて 次世代の国富を担う産業を育成・創出する” という設立目的のもと、INCJ のファンド経営において「アーリー/ ベンチャー企業投資」「事業の再編・統合」「海外経営資源の活用」という三つの投資分野でポートフォリオマネジメントを行い、それら全ての分野において投資元本を上回る回収ができたことは、大きな成果であると考えている。

また、経済合理性とともに、官民ファンドとして重要な評価軸である社会的なインパクトという観点でも、INCJ は新しい技術、ビジネスモデルを提案する多くのベンチャー企業の成長を支えたほか、技術等を核とした事業の再編・統合を通じた既存企業の革新への支援等、様々な事業化ステージの案件に対して投資活動を通じて貢献が果たせたと考えている。ポートフォリオ全体としては一定の成果を示すことができた一方、個別の案件については、成功・失敗案件共に様々な学びがあり、また様々な課題も見えてきていることから、多岐に亘る産業種別、投資分野の投資案件を経験した立場として、様々な提言を行い、語り継いで参りたい。

2025 年 4 月以降は、15 年に亘る INCJ の活動全体の成果・学びを取りまとめ、JIC などの関係者へ承継していくとともに、社会への発信もしっかりと行っていくべく、社史発行や、客観的な視点を含めて INCJ の総括を行う場である INCJ シンポジウムの開催を進めていく。」

■今後のスケジュール

(1) 記者会見

2025 年 6 月下旬を目途に、報道関係者を対象とした記者会見を開催する予定です。当日は INCJ の投資活動に係る 2025 年 3 月期の収支報告のほか、投資活動に係る評価や反省等の振り返り、活動を通じて得た示唆や、スタートアップエコシステムに対する提言等の説明を行う予定です。詳細は改めてご案内いたします。

(2) INCJ シンポジウム

2025 年 7 月 1 日、経済産業研究所（以下、RIETI）及び日本ベンチャー学会との共催（予定）で、客観的な視点を含め INCJ の活動の総括を行う「INCJ シンポジウム」を開催いたします。当日は、学術関係者、投資先企業・VC 関係者、官公庁関係者、報道関係者等を対象に、日本ベンチャー学会会員をはじめとするアカデミアによる INCJ の分析研究の報告や、投資先企業や政府機関をはじめとする関係者の対談等を行う予定です。詳細を改めてご案内します。

尚、シンポジウムの模様は RIETI の YouTube チャンネル（[rietichannel - YouTube](https://www.youtube.com/channel/UCtichannel)）からもご覧いただける予定です。

<株式会社 INCJ について>

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務としてきました。尚、2024 年 3 月末時点において累計投資額 1 兆 2963 億円に対して、累計回収額 2 兆 2490 億円と、回収額が投資額を上回っており、既に新規投資は終了していることから、INCJ 全体の収支はプラスとなります。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報
奥村（070-3960-3640）、三角（080-8098-0445）
東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア
URL : <https://www.i-ic.co.jp/jp/>
<https://www.incj.co.jp/>